

高知県の教育の基本理念	(1)学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3)多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人	スクール・ミッション	地域の進学や部活動の拠点として、中高連携や学科間の横断的な取組により教育内容を充実させ、地域をけん引するリーダーとなる人材を育成する。 県西部の進学をけん引する拠点校として、中高6年間の探究的な学びを通じて新しい時代に求められる資質と能力を備え、地域の未来を切り拓くリーダーとなる人材を育成する。
スクール・ポリシー	【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針) ○自己の夢や目標を実現したいという強い意思を持った生徒を募集します。 ○自主的かつ意欲的に学習への取り組みができる生徒を募集します。 ○部活動や生徒会活動等にも熱心に取り組める生徒を募集します。 ○基本的な生活習慣が身に付いている生徒を募集します。 ○素直でやさしく、思いやりを持った行動ができる生徒を募集します。	【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針) ○2年生からのコース制(人文型・自然型)により進路選択に対応します。 ○2年生からより深く学べる希望制の特別進学クラスを編成します。 ○総合的な探究の時間では自分・地域・未来についての探究学習を行います。 ○英語の授業では「ラウンドシステム」による繰り返し学習を行います。 ○文化祭・体育祭などの学校行事や部活動の一部は中高合同で行います。	
	【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力) ○学ぶ意欲を育み、主体的に学ぶ力を育成します。 ○部活動等の自主活動を奨励し、自ら実行する力を育成します。 ○探究学習を通して、次の5つの力を育成します。 ①情報収集力、②課題発見力、③連携力、④思考と判断、⑤表現と発信 ○勉強力・実行力・探究力をバランスよく育成します。		

学校関係者評価			
【学力の向上】	評価	【	】
【社会性の育成】	評価	【	】
【チーム学校】	評価	【	】

(評価)A:目標を十分に達成 B:目標をほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分

		育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】		見直しのポイント【A】
重点項目	学力の向上	★確かな学力 ○基礎となる知識・技能 ○思考力、判断力、表現力 ○生涯にわたって学び続ける意欲 ★自己の将来とのつながりを見通した学び ○社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力 ○キャリアデザイン力(やりぬく力)	○C層以上の生徒の増加 ・1年:93.8%→94% ・2年:93.8%→94% ○授業外学習時間の増加 ・1日平均学習時間1時間以上60%以上 《1年39.3%、2年46.9%、3年66.9%》 ○県アンケート「将来の可能性を広げるために勉強をがんばっている」肯定回答95%以上 《1年91.4%、2年92.5%、3年96.6%》 ○県アンケート「自主学習の仕方を理解している」肯定回答80%以上 《1年79.3%、2年76.0%、3年93.9%》	○課題テストや授業課題等による家庭学習時間の確保 ○大学進学講座や模擬試験等の実施 ○ICT活用した個別最適な学習や協働的な学びを取り入れた授業の実施及び中高教員相互による授業参観						
	社会性の育成	★豊かな心、多様性・包摂性の尊重 ○豊かな人間性・道徳性・社会性 ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	○県アンケート「立場や年齢、考え方の異なる相手でも、その意見を聞き、理解しようとしている」(あてはまる)70%以上 《1年70.1%、2年58.0%、3年68.9%》 ○県アンケート「人と一緒に何かをするときは、相手の気持ちを考えて行動している」(あてはまる)70%以上 《1年71.8%、2年62.3%、3年70.3%》	○生徒会や生徒実行員会による学校行事(体育祭・文化祭)の計画・実施 ○中高異学年で取り組むピア・チューターの実施 ○地域の人々にインタビューする地域課題探究(アクション)の実施						
取組項目	地域協働学習	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携	○県アンケート「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」高3肯定回答70%以上 《79.0%》 ○県アンケート「高校入学以降、地域や社会をよくするために、地域貢献活動やボランティア活動などを行ったことがある」高3肯定回答90%以上《93.9%》	○地域の人々にインタビューする地域課題探究(アクション)等による地域理解の促進 ○地域でのボランティア活動の募集 ○部活動単位での地域貢献活動(イベント等の参加)						
	教科横断的教育	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成	○県アンケート「高校入学以降の学習によって、環境や社会の問題に対する意識や行動に変化があったと思う」高3肯定回答80%以上 《82.4%》	○地域の人々にインタビューする地域課題探究(アクション)の実施 ○探究学習の中間発表及び成果発表会の実施						

		取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】		見直しのポイント【A】
チーム学校	学校の振興	★学校の魅力化・特色化 ○10年、20年後の姿を意識させる進路指導の充実 ○学校全体での地域貢献	○魅力化・特色化の具体的目標(指標) ・国公立大学の合格割合:35%以上 ・高校入試の志願者数増(R6:139名、R5:127名、R4:133名) ○学校運営協議会等の実施回数:2回	○部活動単位の地域貢献活動(イベント等)の参加 ○学校説明会や体験入学による学校PR ○保護者等への適時な情報発信(HP、Classi)						
	不祥事防止	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	○倫理観堅持のための具体的目標(指標) ・チェックリスト「上司や同僚、家族に相談できている」肯定回答80%以上 ○校内研修の実施回数:3回以上 ○不祥事防止委員会の実施回数:3回以上	○職朝や職員会等における定期的な服務規律の確保 ○校内研修及びチェックリストの実施						
	働き方改革	★長時間勤務の解消 ○安心・安全な職場環境 ○仕事への充実感の獲得	○時間外在校等時間前年度比3%以上減 ○働き方アンケート「多忙感の解消につながっている」肯定回答70%以上《71.1%》	○教員業務支援員、部活動指導員の活用 ○会議時間の短縮・ペーパーレス化 ○在校等時間管理システムによる時間外在校時間の把握						